

心に太陽を

一年間ありがとうございました

本年度、最終号となる「心に太陽を」第12号では、「6年生を送る会」の様子や、終業式での校長先生のお話、今年度をもって岩村田小学校を去る職員についてお伝えします。

春休み中も、健康、安全に十分気をつけて、充実した休みにしてください。心も体もリフレッシュして新年度に備えましょう。1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました

<3学期終業式 森泉 雄二 校長先生の講話 「ゆずり葉のように②」 >

3月初めのこの時期を『啓蟄』と言います。「啓」は開く、「蟄(ちつ)」は虫などが土中に隠れ閉じこもる意味で、「啓蟄」は「冬ごもりの虫が土からはい出る」という意味があります。温かくなってきて、虫も活動を始めます。春はもうすぐそこまで来ています。

さて、3学期の始業式には『ゆずり葉』というお話をしました。「1～5年生の皆さんは、このゆずり葉のように6年生の皆さんに大事に守ってもらいながら育ってきた若い芽。譲ってもらった心をつないで、6年生が安心して卒業できるようにしてほしい」とお話ししました。今日は、3学期に育ってきたなあと思う「若い芽」を2つ紹介します。

1つ目は、2月の終わりからの「集団登校」です。集団登校のリーダーが6年生から5年生4年生たちに引き継がれました。新しい登校班には、こんな姿が見られました。

班長さんを先頭に一列で整然と歩いています。低学年の子を意識してゆっくりゆっくり歩く班長さんもありました。班長さんだけでなく、目を合わせてあいさつできる低学年の友だちがとても多いです。高学年の友だちの方が低学年に学ばなくてははいけません。それから、班長さんにただ付いていだけでなくて、止まって自分の目で左右を確認できる友だちや、止まってくれた車にお辞儀をしてお礼ができる友だちも増えています。6年生も後ろから下級生を見守ってくれています。来年4月、入学する新1年生が安全に登校する力をつけていくための集団登校につなげていけそうで、うれしく思っています。

2つ目は、学校の中で見られた落書きについての「わたしノート」の記述です。

6年生は、『このまま卒業しても大丈夫なのだろうか』『今の下級生に全てを任せていいのだろうか』と悩みました。私たちは『新しくてきれいな学校』という自慢のまま、次に受け継いでいかれるように頑張りたいです』と書いていました。最後まで頑張るよって考えてくれている6年生なんだね。

そして下級生。いろいろな感じ方・考え方をしてくれてびっくりしました。紹介します。

1年生は、「学校をいじめているように思いました」「学校だって悲しい、みんなだって悲しいし、私だって悲しかったです」と書いていました。「学校」の悲しさを自分の悲しさと同じように考えられる1年生、すごいです。

2年生は、「学校を傷つける人にはきつと罪がないと思います。きつと気づいていなかったんでしょ」「態度や雰囲気や落書きをするような人が出てきちゃうんだと思う。だから、悪い態度を直したり雰囲気をよくしていった方がいい」と書いていました。落書きをした人を憎むというより、「わざとじゃないよね」と気づいたり、「学校のみんなで悪い態度や雰囲気をよくしていく必要があるよ」と提案してくれたりしてくれた2年生です。

5年生は、『どう思いますか?』と聞かれた時、私は手を挙げたかったのに、校長先生は私たちに期待をしてくれたのに、それに答えられなかった。今度は…」「私たちのクラスでは15分って短い時間でできる限り精一杯掃除している。今までどんなに汚くてもすごく長い時間をかけて精一杯やってきた。もし落書きあったら何でも頼ってください」「ぼくはあの時、一部の人がしか考えていないなと思いました。なぜかという、話している校長先生を見ていなかったからです。これじゃあ、表面だけの学校になるなと思いました」と書いていました。「僕は」「私は」と他人事ではなく自分事として捉えている5年生には頼もしさを感じます。周りに流されない強さをこれからも大事にしてほしいと感じます。

学校のピンチを、学校が成長するチャンスに皆さんが変えてくれています。ありがとう。6年生の皆さんに大事に守ってもらいながら育ってきた1年生から5年生の若い芽。素敵な芽を伸ばしていってください。そして、明日はいよいよ卒業式。譲ってもらった心をつないで、6年生に安心して卒業してもらおう。全校のみんなで、いい卒業式をつくりましょう。

6年生のみなさんに

だいじに守ってもらいながら

育ってきた1～5年生のわかい芽



「ありがとう」があふれる6年生を送る会

5日(火)に行われた「6年生を送る会」。5年生が中心となって、企画、運営をしてくださいました。各学年の発表を聞いていると、1～5年生にとって大きな存在だったことが伝わってきました。

廊下には、各学級からのメッセージが掲示されていました。「ぼくが廊下を走っちゃった時、注意してくれてありがとう。」からは、6年生が全校の指針になってくれていたことが伝わってきました。「登校班で転んじゃった時、やさしく手を引いて、ゆっくり歩いてくれてありがとう。」からは、6年生の思いやりが溢れていたことが伝わってきました。「運動会のおうえんだん、すごかったよ！」からは、6年生が憧れの存在だったことが伝わってきました。

在校生1人1人に6年生に関わるエピソードや感謝の思いがあり、その思いが発表やメッセージを通じて6年生に伝わったのではないかと思います。感謝の思いがあふれた6年生を送る会になりました。



P T A資源回収等の収益金から心のこもった寄贈品をいただきました

岩村田小学校P T Aの皆様から、「子どもたちのために」と、以下の寄贈品をいただきました。全校で大切に使用させていただきます。

・長机 ・一輪車 ・ホッピング ・本 ・ドッジボール



先生方 お世話になりました



令和5年度末の人事異動で、10名の先生とお別れをすることになりました。年数はそれぞれ違いますが、岩村田小学校の子どもたちと学校生活を共にした時間は、とても充実した幸せな時間になりました。新天地での先生方のさらなるご活躍をご祈念いたします。

<令和5年度末で 転退職する先生>

名 前	転出先等	名 前	転出先等
木内 文恵先生	佐久市立中込小学校	櫻井 宏子先生	佐久市立白田小学校
丸山 晃男先生	軽井沢町立軽井沢中部小学校	千葉 包高先生	退職
中村 俊幸先生	長野市立古里小学校	中澤 香織先生	佐久市立佐久城山小学校
田中 美佐先生	退職	堀籠 恵 先生	退職
石川 未悠先生	退職	小川 夏帆先生	退職

「わたしノート」について

全校で取り組んだ「わたしノート」を持ち帰ります。1年間、どんな言葉を紡ぎ出したのかご覧いただけたらと思います。なお、年度をまたいで学校で保管をしたいと思いますので、お手数ですが1～5年生は、4月4日(木)に学校に持たせてください。

春休みは気持ちが切り替わる休みでもありますが、担任の異動やクラス替えなどもあり、何となく不安な時期でもあります。特に心配されるのが、歩行中の飛び出しや自転車乗りに起因する交通事故です。また、お子さんの動向やお金の管理、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等にもご留意ください。心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。

※平日昼間の連絡先 【佐久市立岩村田学校 TEL67-3309】